

## ～新門司工場基幹改良工事（延命化）について～ （北九州市公共事業評価に伴う市民意見募集結果）

### 1 事業概要

事業箇所 : 門司区新門司三丁目79番地

事業費 : 約106億円（内訳 市負担11億円、循環交付金28億円、起債67億円）

事業目的 : 一般廃棄物の安定処理を行うため、老朽化した新門司工場の機能回復を図るとともに、延命化することによりライフサイクルコストの削減を目指す。  
また、設備の省エネルギー化や廃棄物発電の効率化により、脱炭素化の推進を図る。

事業内容 : 主要設備の大規模修繕工事を実施することにより、工場の耐用年数を20年から30年程度まで延命化する。

#### 事業スケジュール（予定）

令和4年度：事前評価2

令和5年度：契約

令和6年度：現場着工

※事業期間：令和5年度～令和9年度

令和9年度：竣工

#### 事業位置図：



## 2 これまでの経緯

- (1) 令和4年1月28日 北九州市公共事業評価に関する検討会議（事前評価1）  
事業の必要性、計画の推進について承認。
- (2) 令和4年2月9日 常任委員会報告（事前評価1、市民意見の募集について）
- (3) 令和4年2月17日～令和4年3月18日 市民意見の募集

## 3 市民意見の募集結果

- (1) 意見募集期間  
令和4年2月17日（木）から3月18日（金）まで（30日間）
- (2) 意見提出状況  
提出者 1人（提出意見数 1件）

## 4 提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方

事業の必要性に関するもの・・・1件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
延命化は中止し、バイオ炭などを生成する熱分解システム炉への取替えを提案する。	<p>本市では、新門司工場の特性を踏まえ、建替えとの比較検討を行い、経済性や環境負荷を総合的に勘案し、基幹改良による延命化に向けた準備を進めています。</p> <p>ご提案の熱分解システム炉は、熱分解により、ごみを炭化する方式と推察しますが、国内で稼働中の施設は少なく、処理能力も小規模なものと聞いていることから、安定したごみ処理の観点から、本市施設への導入は現時点では困難と考えます。ご理解をお願いします。</p> <p>なお、先進都市の取組み事例や技術革新の動向については、2050年に向けた脱炭素社会の実現を見据え、引き続き注視してまいります。</p>	計画への追加・修正無し

# 公共事業評価の体系

